



scro|l

株式会社スクロール 株主通信

第76期 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日

証券コード：8005

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申しあげます。

2016年度上半期(2016年4月1日～2016年9月30日)の報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当社グループは、当期を初年度として、事業ポートフォリオの構築と収益基盤の確立に重点を置いた中期経営計画「みらい2018」をスタートさせ、変化する市場環境に対応するべく、従来の枠組みを超える改革を推進することで事業競争力を強化し、安定した事業基盤の構築と新たな収益事業の獲得を目指して、グループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当上半期の業績につきましては、売上面は、低迷する小売市場の環境下において、主にアパレル商材の販売不振が影響し前年同期を下回る結果となりました。利益面では、減収に伴う減益となりましたが、販売促進費の効率化や収益構造の改革を推進した結果、一定の利益を確保することができました。

2016年度下半期におきましても、引き続き厳しい環境が予想されますが、中期経営計画「みらい2018」の完遂に向けた各種施策を実施し、収益力のある優良企業として成長を目指すとともに、株主のみなさまにご満足いただけるIR活動を推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

堀田 守



会社経営の基本方針

当社グループは、「社会から信頼される企業であること。清く、正しく、美しく事業を行うこと。」を社とし、事業の発展と社員の幸福を一致させるべく活動し、お客さま、お取引先さまおよび株主さまが、ともに満足を得られる経営を行い、社会に貢献することを基本理念としております。

この社会的使命の達成に向けて不断の努力を続けるとともに、事業活動の効率化、財務体質の強化およびキャッシュ・フロー重視の事業活動を推進し、企業価値の最大化を目指してまいります。

経営方針

中期経営計画「みらい2018」

2016年度経営方針

■ 利益基盤の地固め

既存事業の収益構造改革を行うとともに、収益とのバランスのなかで将来的な成長の布石となる取組みを推進してまいります。

■ 安定成長

安定的・持続的な成長のため、事業投資は収益とのバランスを図りながら実施してまいります。

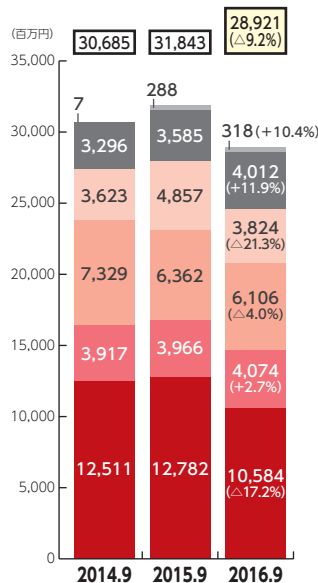
事業概況と経営成績のご報告

当社グループが主たる事業を展開している小売業界におきましては、天候不順に翻弄された消費者マインドの停滞やインバウンド需要に変化が見られるなど、消費環境は一進一退の状況が続いております。また、通販業界におきましては、継続的に市場規模が拡大していくなかで、異業種からの参入増加や、スマートフォンなどの普及による消費行動の変化への対応など、通販事業者を取り巻く環境は厳しさを増しています。

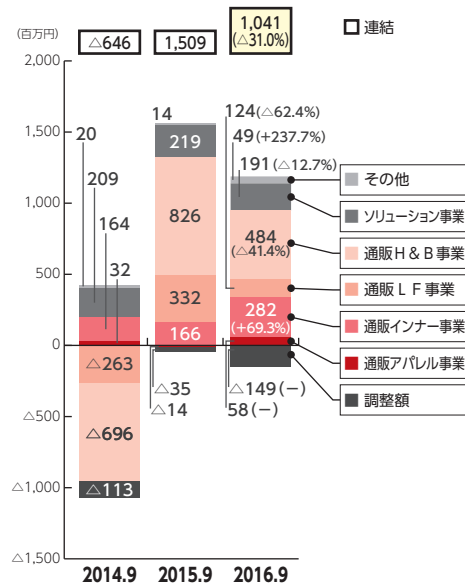
このような事業環境のなか、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高289億21百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。利益面におきましては、連結営業利益9億93百万円(同32.4%減)、連結経常利益10億41百万円(同31.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億28百万円(同43.8%減)となりました。

当期より表示方法の変更を行っております。前期実績につきましては、当該変更を遡及適用した組替え後の数値を記載しております。以下、すべてのページにおいて同様に表記いたします。

■セグメント別売上高の推移(連結)



■セグメント利益又は損失の推移(連結)



※1) 2016.9期数値の()内は、前年同四半期対比の増減率です。

※2) セグメント利益又は損失は、連結経常利益又は連結経常損失(△)と調整を行っております。

※3) セグメント別の売上高は連結相殺消去後、セグメント利益又は損失は連結相殺消去前の数値を記載しております。

通販アパレル事業

主に女性向けのファッションウェアのインターネット販売やカタログ販売を行っております。



通販インナー事業

主に女性向けのインナーウェアのインターネット販売やカタログ販売を行っております。



通販L F (ライフファッション)事業

インテリア雑貨やブランドバッグ・小物等のインターネット販売やカタログ販売を行っております。



通販H & B (ヘルシー&ビューティー)事業

化粧品や健康関連商材のインターネット販売やカタログ販売を行っております。



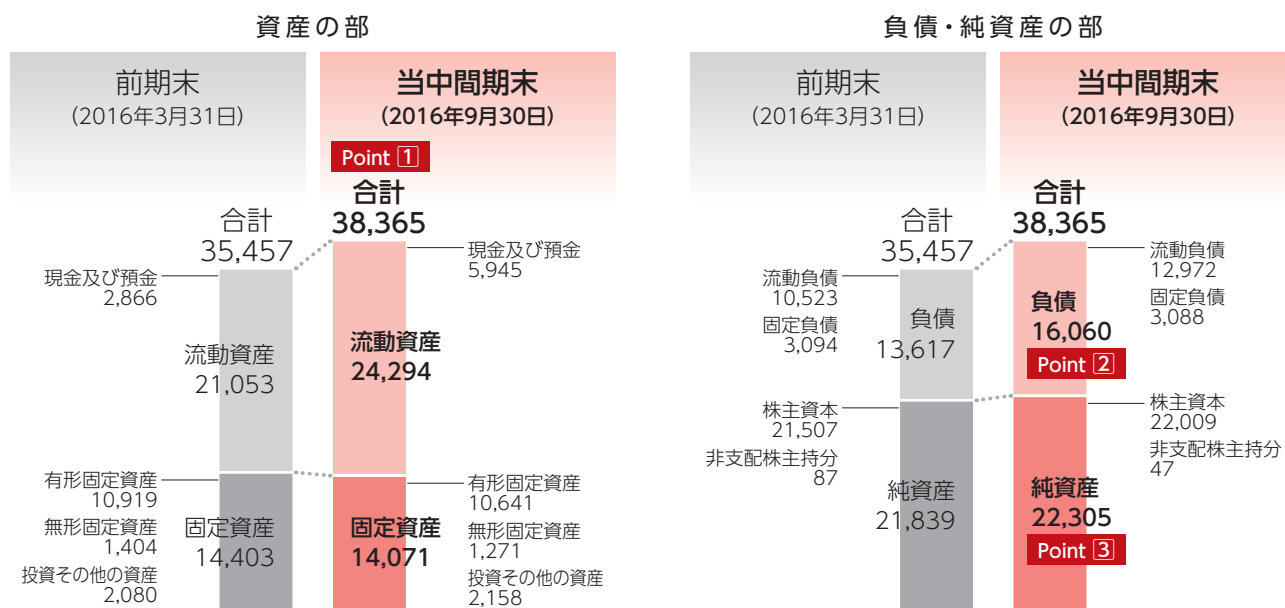
ソリューション事業

EC・通販事業者へ「物流支援」「コンタクトセンター支援」「決済支援」「販促促進支援」「システム支援」等のサービスを提供しております。



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



Point ① 資産

総資産は383億65百万円となり、前期末に比べ29億8百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

Point ② 負債

負債は160億60百万円となり、前期末に比べ24億42百万円増加しました。これは主に未払金の増加によるものです。

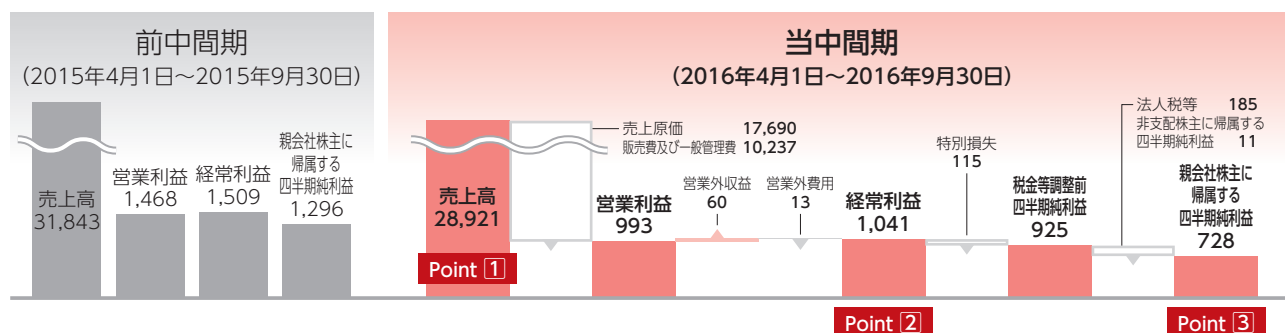
Point ③ 純資産

純資産は223億5百万円となり、前期末に比べ4億65百万円増加し、自己資本比率は58.0% (前期末は61.3%) となりました。

※連結貸借対照表の中間期末は、第2四半期連結会計期間末を表します。

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



Point ① 売上高

アパレル商材の不振により、前年同期に比べ29億21百万円の減少となりました(前年同期比9.2%減)。

Point ② 経常利益

効率的な販促活動や収益構造の改革を行ったものの減収による減益で、前年同期に比べ4億68百万円の減少となりました(同31.0%減)。

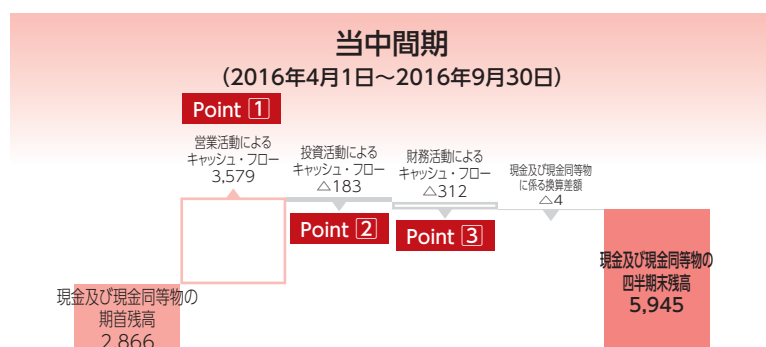
Point ③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期に比べ5億67百万円の減少となりました(同43.8%減)。

※連結損益計算書の中間期は、第2四半期連結累計期間を表します。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



※連結キャッシュ・フロー計算書の中間期は、第2四半期連結累計期間を表します。

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は35億79百万円(同290.5%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、その他の流動負債の増加などによるものです。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1億83百万円(同78.3%減)となりました。これは主に、無形固定資産の取得などによるものです。

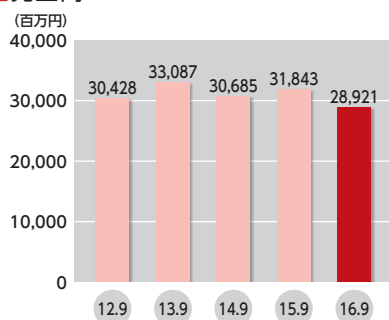
Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は3億12百万円(同31.1%増)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得、配当金の支払いなどによるものです。

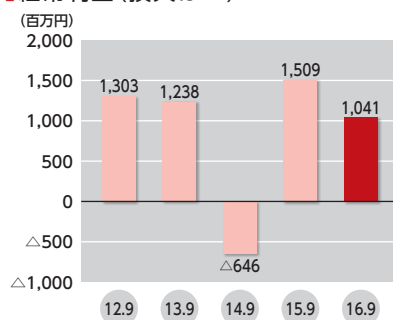
財務ハイライト(連結)

■ 2012年9月期～2016年9月期の財務ハイライト

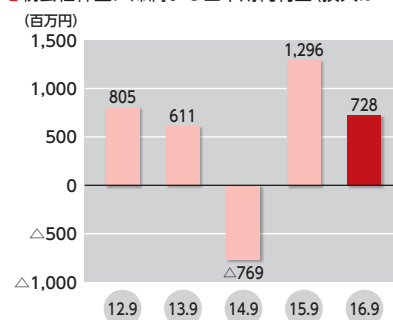
売上高



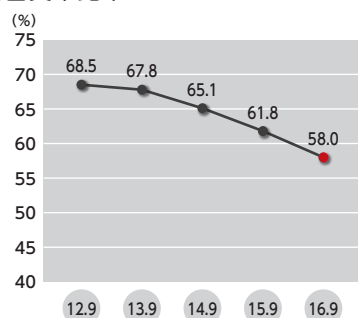
経常利益 (損失は△)



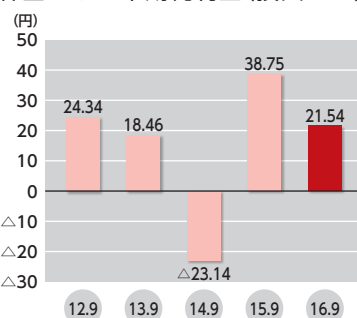
親会社株主に帰属する四半期純利益 (損失は△)



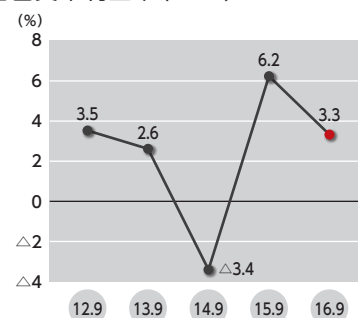
自己資本比率



1株当たり四半期純利益 (損失は△)



自己資本利益率 (ROE)



※2014年9月期以前の実績につきましては、組替え前の数値を記載しております。

トピックス

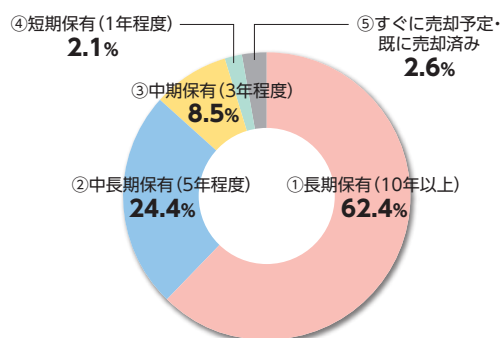
▶ 株主アンケート結果のご報告

2016年6月に、株主のみなさまにアンケート調査を実施いたしました結果、2,576名の株主さまよりご回答をいただくことができました(回答率:15.7%)。アンケートにご協力いただきましたことを、この場を借りて心より御礼申し上げます。

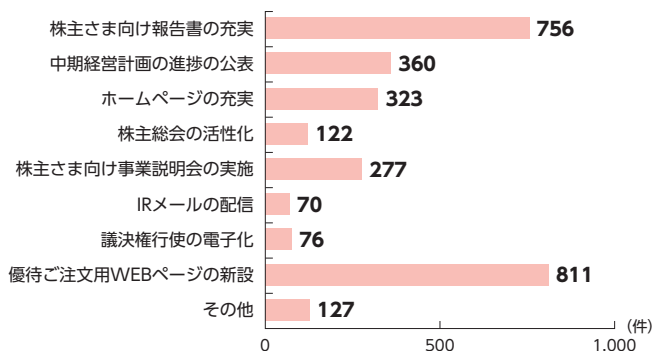
お寄せいただきましたご回答は、今後の経営やIR活動等に生かしてまいります。

ここで、アンケート集計結果の一部をご報告いたします。

当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。
(1つだけ)



今後のIR活動について、充実を希望なさることをお聞かせください。
(複数回答可)



当社は今回の結果を受け、更なるIR活動の充実を推進してまいります。

現状想定している施策は、以下の5つです。

- ①株主さま向け報告書の充実
- ②中期経営計画の進捗の公表 ※1
- ③ホームページの充実
- ④議決権行使の電子化 ※2
- ⑤優待ご注文用WEBページの新設 ※3

※1 2016年10月27日に当社ホームページに掲載しております、「2017年3月期第2四半期決算説明会資料」にてご報告しております。

※2 2017年5月開催予定の第76期定時株主総会より導入を予定しております。

※3 2017年3月31日の権利確定時点での優待より導入を予定しております。

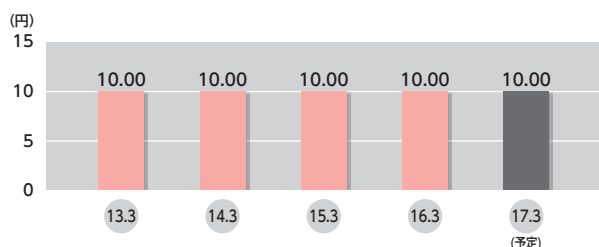
株主還元方針

利益配分に関する基本方針／当期の配当

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置付けております。また、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本的な方針としております。

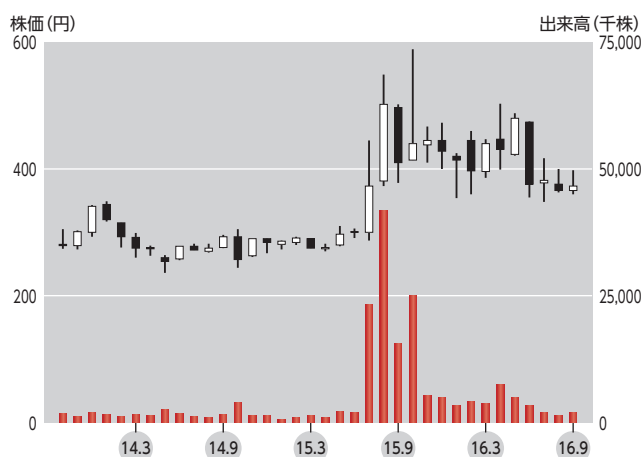
当期の中間配当金につきましては、1株当たり5円とさせていただきます。期末配当金と合わせて年間配当金は10円を予定しております。

■1株当たりの株主配当金(年間)推移



株価・出来高の推移

2013年10月～2016年9月



株主優待について

株主のみなさまに「株主優待券」を進呈しております。
カタログやショッピングサイト掲載の商品をお買い求めいただく際に、割引としてご利用いただけます。

《ご利用対象商品のご紹介》

株主優待券のご利用対象は次のカタログおよびショッピングサイトです。



Brillage、生活雑貨、hocola
コスメランド
豆腐の盛田屋
AXES(アグセス)
きれいみつけた
ハレの日キッチン
ロマンティックプリンセス
三ツ星北海道

ご保有の株数に対して進呈する株主優待券

保有株式数	株主優待券額
100株以上1,000株未満	500円分
1,000株以上10,000株未満	2,500円分
10,000株以上	5,000円分

《長期保有株主優待制度のご案内》

長期保有株主優待制度(基準日:毎年9月30日)

保有株式数	1年以上 継続保有	2年以上 継続保有	3年以上 継続保有
100株以上1,000株未満	500円分	1,000円分	1,500円分
1,000株以上10,000株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
10,000株以上	1,500円分	3,000円分	6,000円分

※1 毎年9月30日の当社株主名簿を基準として年1回実施

※2 継続保有の対象となる株主さまは、毎年3月31日および9月30日の当社株主名簿に同一株主番号で、「1年以上継続保有」については3回以上、「2年以上継続保有」については5回以上、「3年以上継続保有」については7回以上連続して記載または記録されている株主さまとなります。

ぜひこの機会に、当社グループのカタログやWebサイトにてショッピングをお楽しみください。

ご利用方法につきましては、株主優待券のお届け時にお知らせします。

なお、株主優待券には有効期限がございます。

お手持ちの株主優待券がございましたら、有効期限をご確認のうえ、ご利用ください。

CSRの取組み

▶ 社会貢献活動「環境保護」

「第22回大草山森づくりプロジェクト」を実施しました。

2016年10月、スクロールグループの社員と家族約50名が、浜松市西区の大草山にて、6年前に植樹したヤマザクラの周囲の草刈りなど、森の整備活動を行いました。

この活動は2009年より継続実施しており、私たちの手で植えたヤマザクラは、年々大きく成長しています。今後も豊かな森づくりを目指し、当プロジェクトを推進してまいります。



「第10回堆砂垣設置プロジェクト」に参加しました。

2016年10月、浜松市南区の中田島砂丘を保全する「第10回堆砂垣設置プロジェクト」にスクロールグループの社員と家族約20名が参加し、風で飛散する砂を堆積させ砂丘の侵食や低地化を防ぐ効果がある堆砂垣の設置作業を行いました。

スクロールグループは、今後も堆砂垣設置プロジェクトに協力していきたいと考えております。

株式・会社の概況

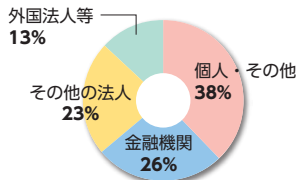
株式の状況

2016年9月30日現在

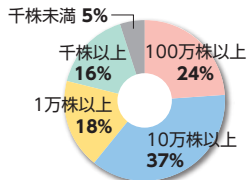
株式の状況

1.発行する株式の総数	110,000,000株
2.発行済株式の総数	34,320,650株
3.1単元の株式数	100株
4.株主数	17,328名
5.単元株主数	16,452名
6.単元株式数	34,286,400株

〈所有者別株式分布状況〉



〈所有株数別株式分布状況〉



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
丸紅株式会社	2,841	8.4
信和会	1,863	5.5
株式会社静岡銀行	1,261	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,234	3.6
スクロール従業員持株会	1,007	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	867	2.6
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 HKMPF 10PCT POOL	704	2.1
モリリン株式会社	550	1.6
日本生命保険相互会社	543	1.6
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	515	1.5

- (注) 1. 信和会は、当社取引先持株会であります。
 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、全て信託業務に係る株式数であります。
 3. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 4. 持株比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

役員一覧

2016年9月30日現在

取締役

代表取締役会長	堀田 守
取締役社長	鶴見 知久
取締役	佐藤 浩明
取締役	小山 優雄
社外取締役 (監査等委員会委員)	村瀬 司
社外取締役 (監査等委員会委員)	越淵 堅志
社外取締役 (監査等委員会委員)	宮部 貴之
社外取締役 (監査等委員会委員)	鈴木 一雄

執行役員

会長兼CEO&COO	堀田 守
社長	鶴見 知久
常務執行役員	北嶋 敬二
常務執行役員	西田 耕三
執行役員	勝田 圭三
執行役員	杉本 泰宣
執行役員	乗松 伸一
執行役員	小山 優雄
執行役員	山崎 正之

会社の概況

2016年9月30日現在

商号	株式会社スクロール(Scroll Corporation)
設立	1943年10月1日
資本金	5,812,442,895円
本社	静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号 電話 053-464-1111(代表)
東京本店	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー25階・26階 電話 03-5962-0500(代表)
支店・事務所	大阪支店・福岡支店・札幌支店・ジャカルタ事務所・ロサンゼルス事務所
物流センター	スクロールロジスティクスセンター浜松西 スクロールロジスティクスセンター磐田
従業員数	320名
グループ従業員総数	569名
主な事業内容	女性向けのファッションウエア、インナーウエア、服飾雑貨、インテリア雑貨、コスメおよび健康関連商材などのカタログ通販およびEC事業
関係会社	(株)スクロール360 (株)ムトウクレジット (株)イノベート (株)豆腐の盛田屋 (株)AXES 北海道アンソロポロジー(株) (株)キャッチボール (株)スクロールR&D (株)スクロールロジスティクス 詩克楽商貿(上海)有限公司 SCROLL SINGAPORE ENTERPRISE PTE.LTD.

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	事業年度終了から3ヵ月以内に開催いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.scroll.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)では、お取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

株式会社 スクロール

〒430-0807 静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号
 TEL 053-464-1111 FAX 053-464-0883
 証券・銘柄コード 8005

企業ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR・決算情報をはじめ、トピックスやCSR活動など最新の情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

スクロール

検索

<http://www.scroll.jp/>

